

コンピュータで日本語文字が扱えるようになったことが我が国における IT の普及を著しく進めた。1978 年に最初の日本語ワープロ JW-10 が東芝から発表された（国会認定の情報処理技術遺産）。1980 年になって九州大学大型計算機センターの共同利用 FACOM 機の OS のもとで日本語拡張機能 JEF が使用できるようになる。我々の研究室で作成する日本語文章は JEF で作るのを原則にした。

大学教授には、学生諸君や研究室のメンバから提出された未完成の文章を読んでその指導を行うという仕事が多い。それらは実験報告であったり、卒業論文であったり、学位論文であったり、学会に投稿する論文であったりさまざまである。これら未完の文章を読んでいると、曖昧な記述や未定義の記述にたびたび出会う。その先を読み進むのは難儀だ。目の前にあるのは機械可読の日本語文章なのだからそれを機械処理して推敲に役立つ情報を抽出できないか。

最初にできたのが受身表現の候補を指摘するものである。受身表現は必ず「れ」を含むことに着目して候補抽出法を編み出した。受身表現では動作の主体が曖昧なことが多い。「望まれる」とあるので「みんなが望んでいるのか」と問い詰めてみると実は書き手だけの望みだったりする。機械が指摘した受身表現の候補を 1 つ 1 つ吟味して、なぜ受身にしたのか、動作の主体は何か、能動表現ではいけないのかと文章を作った学生に考えさせる。ちなみに木下是雄著「理科系の作文技術」（中公新書）が出版されたのが 1981 年である。本書でも受身表現の問題点を指摘している。次に作ったのは「これ、それ、あれ」など指示詞の指摘である。これらの指示詞が指す対象が文章の中で一意的になっているか読み返してもらう。次は、接続助詞「が」の指摘である。清水幾太郎著「論文の書き方」（岩波新書）に触発されたものだ。さらに否定表現候補の指摘などが加わっていった。日本語では否定は文末に置かれるのが特徴である。二重否定は分かりにくい。学生諸君は機械の指摘を手がかりにして自分の作った文章を推敲した上で私の元に届けることとした。

牛島和夫 Kazuo USHIJIMA

【名誉会員】 ushijima@is.kyusan-u.ac.jp

1937 年生。1961 年東京大学工学部卒業。1977 年九州大学工学部教授。2001 年九州大学名誉教授。2002～09 年九州産業大学教授。本会関係、理事、九州支部長、監事、アクレディテーション委員会委員長を歴任。2003 年名誉会員。

1985 年頃からパソコン上で使える日本語ワープロソフトが普及し始めて、研究室の文章作成もパソコンに移ってしまった。そこで 1986 年度の卒業研究でこれまでに共同利用大型機上で構築してきた諸機能を整理統合してパソコン上で働く日本語文章推敲支援ツールを作ってもらい『推敲』と名付けた。これは中々よい出来で、プログラミングシンポジウムで発表した学生は山内奨励賞を受賞した。システムの概要と開発経緯とを日本ソフトウェア科学会誌に、また個別技法を本会論文誌にそれぞれ発表した。論文を読んだ岩波

【シニアコラム】

IT 好き放題



【No.6】

日本語文章推敲支援ツールの今

書店の方から同書店で計画しているマルチメディアシリーズの一環としてソフトウェア出版してみないかという誘いをいただいた。ちょうどその頃に『推敲』の機能の強化と拡張、パッケージ化について、あるソフトウェア企業と共同研究を行って『推敲』を世に出す準備をしていた。岩波書店からの出版は 1993 年の秋になった。MS-DOS 版である。2 年後に Windows 95 が発売される。岩波版『推敲』を新しい OS に対応させることができず、そのままになってしまった。

2001 年に九州大学を退職し、九州産業大学に移り、新設の情報科学部で 2003 年から 2 年生に対して日本語表現法の講義を担当することになった。この講義に向けて、松野了二教授（熊本県立大学）が岩波版の 1 つ前に版をもどして Windows の上で動作する『推敲 2003』（仮称）を生き返らせてくれた。『推敲 2003』では、岩波版にない機能として連用中止法、すなわち「連用形+読点」を指摘する。読点の前の文と後の文との論理的な関係が明快でないことがしばしばあるので推敲の手がかりになる。

この 30 年に IT の進歩は著しい。しかし、文章作成の人間力の方は進んでいないように見える。筆者はワープロソフトには一太郎を使う。現在の一太郎には校正支援機能が備わっていて便利だ。しかし、上に挙げた受身表現、連用中止、否定表現などの候補を指摘してくれるわけではない。文章作成の最終段階で『推敲 2003』が今でも役立っている。

（2011 年 3 月 31 日受付）